

ZLD118 ZLD218 ZLD418

■器具の取り付け工事には電気工事士の資格が必要です。(施工は必ず電気工事店(有資格者)に依頼してください。)

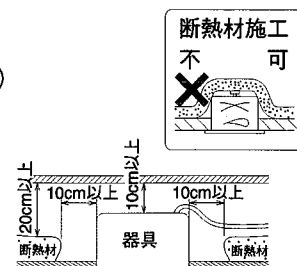
施工説明

工事店様へ・・・この取扱説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 取付工事は「取り付けかた」にしたがい確実に行ってください。
取付工事に不備がありますと、火災・感電・落下の原因となります。
- 断熱材、防音材をかぶせて使用しないでください。(右図の空間を確保してください。)
火災の原因となります。
- 天井埋込器具ですので壁取り付けや傾斜天井への取り付けはしないでください。
火災・感電・落下の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧 $\pm 6\%$)以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 蓄電池は当社非常用照明器具内蔵専用です。他の器具との組み合わせ、及び器具外で使用しないでください。
- 蓄電池は絶対に分解、改造をしないでください。火災・感電・破裂・やけどの原因となります。



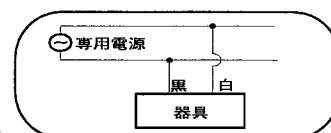
⚠ 注意

- 一般屋内用照明器具です。直射日光のあたる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所、風などが直接あたる場所では使用しないでください。
火災・感電・落下の原因となります。
- 周囲温度は5~35℃以外では使用しないでください。火災・蓄電池の劣化及び非常点灯しない原因となります。
- 絶縁抵抗試験は必ず500V以下の絶縁抵抗計を用いてください。保護機能が作動し不点灯の原因となります。
- 単相三線式の配線下で使用する場合は、負荷のバランスをとりブレーカーは中性線が他相線路より後に遮断される仕様のものでご使用ください。

配線方法

電源線は次のように結線してください。

- 電源線は専用電源(一般屋内配線とは別の専用回路)に接続してください。
- 必ず分電盤からの専用回路とし、分電盤と器具の間にはスイッチを設けないでください。



仕様

定格(使用温度5°~35°C)

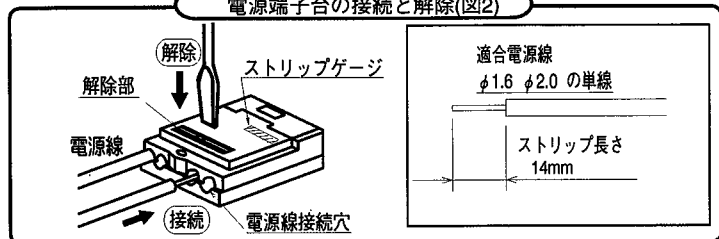
形式		適合電球	定格電圧	入力電流	入力電力	定格周波数
ZLD118	常時	—	AC100V	24mA	2.2W	50Hz/60Hz 共用
	非常時	非常用 4.8V 2.0A	密閉形Ni-Cd蓄電池4.8V2000mAh			
ZLD218	常時	—	AC100V	28mA	2.4W	50Hz/60Hz 共用
	非常時	非常用 7.2V 2.7A	密閉形Ni-Cd蓄電池7.2V2500mAh			
ZLD418	常時	—	AC100V	36mA	3.3W	50Hz/60Hz 共用
	非常時	非常用 12V 3.0A	密閉形Ni-Cd蓄電池12V2500mAh			

各部の名前と取り付けかた

図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です。

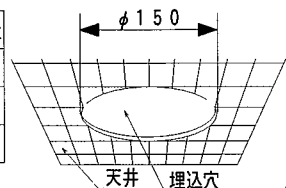
- 1.天井にφ150の埋込穴をあける。(図1)
- 2.電源線を本体の電源端子台に接続する。(図2)
 - (1)電源端子台のストリップゲージに合わせて電源線を段むきし、接続穴にしっかりと差し込む。
 - (2)解除する場合は、マイナスドライバーなどで解除部を押し電源線をはずす。

電源端子台の接続と解除(図2)



天井埋込穴と器具重量 (図1)

器具型式	器具重量
ZLD118	1.3Kg
ZLD218	1.5Kg
ZLD418	1.8Kg

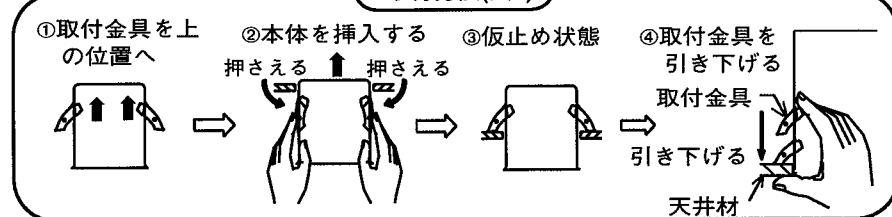


- 3.天井の埋込穴に取付方法(図3)にしたがい本体を確実に取り付ける。

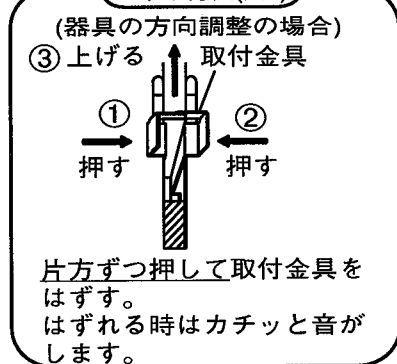
枠と天井の間に隙間ができる原因となります。

- 器具を取付金具で取り付ける場合、天井は器具重量に十分耐えられる強度を確保する。落下の原因となります。
 - 器具を吊りボルトで取り付ける場合、吊りボルトは器具重量に十分耐えられる強度を確保する。落下の原因となります。
 - 吊りボルトの本体内部への出代は20mm以下とする。(図5)
- 充電装置が本体に取り付けられなくなります。

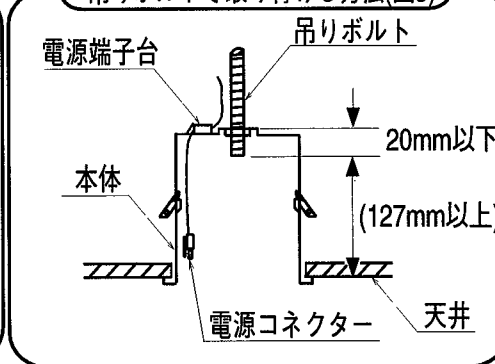
取付方法(図3)



はずす方法(図4)



吊りボルトで取り付ける方法(図5)



- 4.充電装置にNi-Cd蓄電池を上方より差し込み、バッテリーコネクターを接続する。
- 5.本体注意ラベルの赤色矢印に充電装置の矢印の位置をあわせ、充電装置を上方向に押し上げ本体内部の充電装置固定バネに確実に固定する。(図6)
 - 充電装置を装着の際はNi-Cd蓄電池を下向きにしないでください。Ni-Cd蓄電池が落下して、けが・物損の原因となります。
- 6.電源コネクターを充電装置側の電源コネクターに差し込む。
- 7.反射板の点検スイッチ穴に点検スイッチ紐を通した後、反射板の取付バネを本体の切り起こしに引掛け、反射板を固定する。
- 8.非常用電球を確実に取り付ける。

■非常用電球の取り付けは必ず通電後に行う。通電前に取り付けるとNi-Cd蓄電池が放電してしまいます。

- 9.点灯の確認を必ず行う。

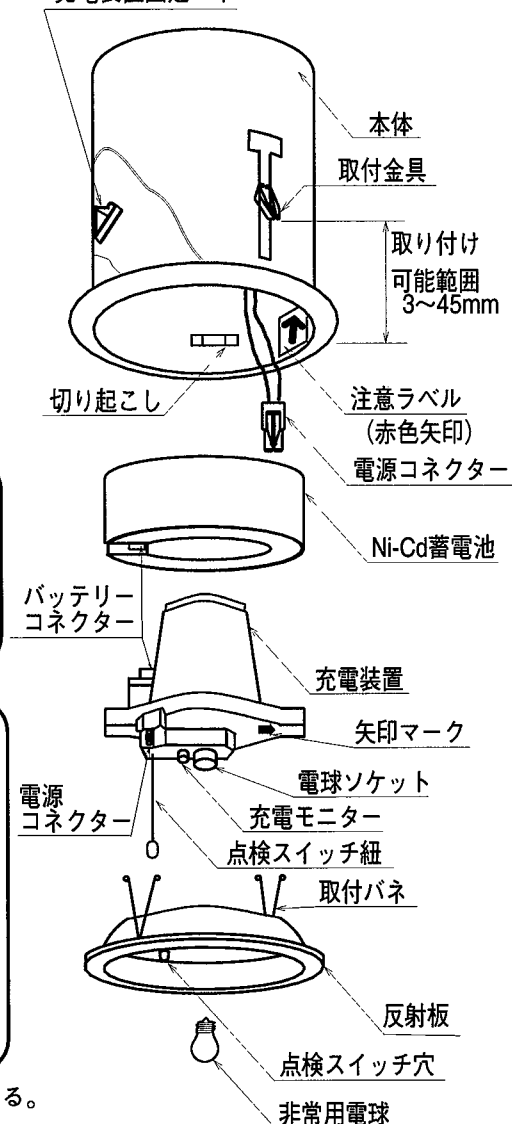
- ・Ni-Cd蓄電池は充電されているか。

充電モニターが点灯しているかどうか確認する。充電モニターが消灯している場合は、蓄電池が充電装置に確実に取り付けられているかどうか確認する。

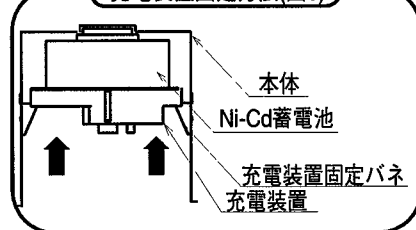
- ・非常点灯するか。

点検スイッチ紐を引っぱって非常点灯するか確認する。電球が非常点灯している場合は、充電モニターが消灯します。(Ni-Cd蓄電池は自己放電している場合がありますので、48時間通電後非常点灯の確認をする。)

充電装置固定バネ



充電装置固定方法(図6)



取扱説明

お客様へ・・・この取扱説明書は必ず保存してください。

- このたびは日立照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

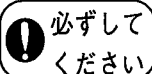
- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 器具のすきまや放熱穴に、金属類を差し込まないでください。火災・感電の原因となります。
- 器具や電球を布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりして使用しないでください。
火災の原因となります。
- 煙がでたり異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切ってください。火災・感電の原因となります。
- 蓄電池の+極と-極を針金等の金属による接続は絶対にしないでください。
火災・感電・破裂・やけどの原因となります。
- 蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。破裂する危険があります。
- 蓄電池は絶対に分解、改造をしないでください。火災・感電・破裂・やけどの原因となります。

⚠ 注意

- 器具を温度の高温なもの（ストーブ・ガスレンジ等）の近くや燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
火災の原因となります。
- 電球交換の際には、本体表示及び、取扱説明書にしたがって指定された電球を使用してください。指定以外の電球を使用すると、火災・不点灯の原因となります。
- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃、点検をしてください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事店・電器店に修理を依頼してください。
- 3～5年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。

お手入れ・電球交換

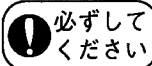
（必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。）



- 反射板、電球がほこりなどで汚れますと、明るさが低下するだけでなく、非常点灯時の明るさが確保できなくなります。汚れが目立ちはじめましたら、きれいな布にせっけん水を浸してよく絞ってからふきとり、さらに乾いた布でふいて仕上げてください。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書にしたがってください。
- お手入れなどで電球をはずし、再度取り付ける場合は、電球を確実に取り付けてください。取り付けに不備があると、落下してけが・物損の原因となります。



- みがき粉・ベンジンなどでふいたり殺虫剤をかけないでください。また器具の水および洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。傷つき・変形・変色・サビの原因となります。
- 非常点灯中や消灯直後は、電球が高温となっていますので手を触れないでください。やけどの原因となります。



この器具は非常用専用です。必ず下記の電球をご使用ください。指定以外の電球を使用すると、火災・不点灯の原因となります。器具の交換部品は必ず指定のものをご使用ください。器具の故障の原因となります。

交換部品		
形式	非常用電球	ニカド (Ni-Cd) 蓄電池(電池容量)
ZLD118	非常用4.8V2.0A	4NR-CH-1RC (4.8V 2000mAh)
ZLD218	非常用7.2V2.7A	6NR-CH-1RA (7.2V 2500mAh)
ZLD418	非常用 12V3.0A	10NR-CH-1RB (12V 2500mAh)

非常用照明器具の点検

■非常用照明器具は性能の維持・保全のため、点検を行ってください。

- 1、外観点検・・・器具の破損、変形の有無、その他外観的事項に関する点検を3ヶ月に1回以上行ってください。
- 2、機能点検・・・器具の切替装置の作動試験、蓄電池の性能試験、その他機能的事項に関する点検を6ヶ月に1回以上行ってください。

(注) (1) 充電モニターが点灯しているかどうか確認してください。点灯していない時は蓄電池のコネクターが接続されているか確認してください。

(2) 48時間以上充電した後、常用電源を遮断し、30分間以上非常点灯するか点検してください。

30分間以上非常点灯しない時は、指定の蓄電池と交換してください。

蓄電池は放電後48時間の連続充電を行いませんと十分な機能を発揮できませんので、蓄電池の性能試験は十分日程を考慮されますようお願いします。

- 上記の点検結果は点検票に記録し、定められた点検結果書を添え防火対象の区分により1年、または3年に1回、消防機関に報告してください。

点検記録							設置年月日 年 月 日
							取付場所
点検年月日	点検結果		点検者	点検年月日	点検結果		点検者
	外観	機能			外観	機能	
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			

 **Ni-Cd** この器具には、ニカド (Ni-Cd) 蓄電池を使用しております。
ニカド (Ni-Cd) 蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニカド (Ni-Cd) 蓄電池の交換品、及び使用済み製品に際してはニカド (Ni-Cd) 蓄電池を取り出し、リサイクルにご協力ください。

アフターサービス・・・ご使用中、もし器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。

 **日立ライティング株式会社**

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2
電話(03)3255-5256

2002.02 KTA15176 R1